

# 【平成28年度 月次状況報告】

平成28年6月16日  
 (東証2:8202)  
 社長室経営企画部

## インバウンド状況

	2015年 1月~12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高前年比増減率 ※ 国内全店	+142%	+27%	-11%	-1%	-26%	-44%							
店舗数 各月末時点	(12月末時点) 33	34	36	37	37	39							

  

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
レジ通過数 ※※	2015	130,729	172,900	172,016	210,073	200,526	221,884	244,341	252,475	197,978	212,066	184,357	166,055
	2016	172,886	194,224	218,365	233,924	196,335							
平均顧客単価	2015	27,767	37,992	32,658	39,021	37,353	37,474	37,489	37,559	31,037	31,037	29,104	27,349
	2016	26,713	30,022	25,372	26,067	21,295							

※ 数値は国内の店舗売上に係る速報値です。また今期より表記方法を変更しております。  
 ※※ 今期より集計方法を変更し、実際に購入に至ったレジ通過数を公表しております。

## 出店状況

2015年12月末時点 33店舗

新規出店		
オープン日	店舗名	面積
1月1日	熊本水前寺公園店	1,182.335㎡
2月3日	札幌パルコ店	100.00㎡
2月22日	鹿児島天文館店	334.53㎡
3月1日	名古屋 丸栄店	1,757.82㎡
3月25日	京都マルイ店	1,426.11㎡
5月10日	佐世保店	527.27㎡
5月21日	南海難波駅店	45.79㎡

  

閉店	
閉店日	店舗名
3月31日	長崎港 松が枝ターミナル店

## 補足コメント

訪日客の消費動向と行動様式は早いスピードで変化している。  
 消費動向の変化による影響として、高額品の消費鈍化による単価の下落  
 が顕著となった。また、行動様式の変化は、訪問エリアの分散化のみならず、  
 滞在中のコト消費の拡大がレジ通過数の減少の誘引となった。

この流れは今後も継続し、ある程度定着してくるものと思われる。当社は、  
 新たな顧客動向にあわせた、商品構成、店舗サービス等に取り組んでいく。